

皆様へ

一般社団法人 性と健康を考える女性専門家の会

20周年記念及び法人化記念シンポジウム・祝賀懇親会 「ピルの認可から女性の自己決定を支える医療へ」

2017年11月7日、当会は20周年を迎えます。これもひとえに、関係各位のみなさまのお力添えの賜物と存じます。心より感謝申し上げます。また、本年4月7日には念願の法人化を果たし、社会に対し一層の貢献をしていく新たな一歩となりました。低用量ピルの認可に始まり、様々なプロジェクトでその時々の課題に立ち向かい、女性医療の波に翻弄されながらも「性と健康」の本筋から逸れずに活動を続けて来られました。

つきましては、20周年を記念して、シンポジウムとささやかな祝賀懇親会を予定しております。御礼の気持ちで皆様をご招待したいところではございますが、会費制とさせていただきます。ご多忙とは存じますが、当会のお祝いの場に是非御参集くださいますよう、理事一同、心よりお待ち申し上げます。

日時：2017年11月12日（日） 講演会/13時～16時(12時半受付開始)
懇親会/16時30分～18時30分

場所：主婦会館プラザエフ（東京、四谷駅前）

スズラン（講演会）カトレア（懇親会）

会費：シンポジウム 会員2000円(学生1000円 院生除く 要学生証)

一般4000円(学生2000円 院生除く 要学生証)

祝賀懇親会 会員一般とも6000円

第1部

会の歴史から未来に向けて

- ・会の立ち上げについて(上坊敏子、末原紀美代)
- ・プロジェクト活動 1) 働く女性(荒木葉子) 2) 助産師エンパワメント(鈴木幸子)
3) ピル(早乙女智子)

第2部

- ・地方支部報告（堀本江美、佐保美奈子、安日泰子 他）
- ・堀口雅子賞発表

第3部

シンポジウム「メディカル・ギャップ」を考える

司会：早乙女智子

- 1) メディカルギャップとは(林夢都美)
- 2) 社会薬学の立場から(宮本法子)
- 3) リプロダクティブヘルスの立場から(塚原久美)
- 4) 学校現場の立場から(坂本由紀江)

懇親会

第3部終了後、プラザエフ内カトレアにて祝賀懇親会（立食）

申込み方法：「こくちーず」<http://kokucheese.com/event/index/481866/>
から参加お申し込みください。

万が一サイトへのアクセスが難しい場合は「一般社団法人性と健康を考える女性専門家の会」事務局へのメール、FAXにてのお申し込みも可能です。その際は、性と健康20周年参加、お名前、ご所属、ご連絡先のメールアドレス、TEL、懇親会参加の有無をお知らせください。

※申込みの際の個人情報、申込後の事務連絡、統計資料等の作成に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。
問い合わせ先：「一般社団法人性と健康を考える女性専門家の会」事務局

メール：pwcsh@ellesnet.co.jp

TEL：03-5565-3588

FAX：03-5565-4914